

吉田萌 ルカ・ヴェージェッティ

蛙犬プロジェクト



Photo : Stefano Croci

Frog Dog Project

ワークショップ

2023年 4月9日(日), 12日(水), 13日(木)

13:30~16:00

お披露目パフォーマンス+トーク

2023年 4月14日(金)

14:00~16:00 (終了予定)



蛙犬プロジェクト Frog Dog Project

イタリアを拠点に活動するアーティスト、吉田萌による空想の動物<蛙犬>。「蛙犬プロジェクト」は、吉田の幼少期の記憶や体験などから生まれたこの不思議な存在を中心に、参加者とともに作る企画です。

「蛙犬」とは?

吉田萌が幼い頃、恐怖の対象であった「蛙」と「犬」。この2種の動物にまつわる個人的な体験などを出发点に、「人間社会と動物の関係」について思いをめぐらせたイメージが作品のモチーフとなっている。彫刻作品である<蛙犬>は棒づかい人形でもあり、それらから派生したドローイング作品も展開中。

ワークショップ 参加者募集!

<蛙犬>と一緒に、展覧会のアフターパフォーマンスをつくってみませんか?

ワークショップ講師には<蛙犬>の原案者である吉田萌、パフォーマンス演出には演出家・振付家のルカ・ヴェージェッティをお迎えし、「セタビの森」を想起させる今回限りのパフォーマンスをつくります。パフォーマンスは「わたしたちは生きている! セタビの森の動物たち」展(2023年2月18日~4月9日)の会期終了後である4月14日に展示室にて披露します。

[ワークショップ] 4月9日(日)、12日(水)、13日(木) 13:30~16:00

[お披露目パフォーマンス] 4月14日(金) 11:00~16:00 (リハーサルから本番までを含む)

場所:当館地下創作室、1階展示室ほか

対象:13才以上で、上記の4日間(4/9,12,13,14)全て参加できる方

定員:15名(先着)

参加費:3,000円(初日に現金にて精算)

お申し込みは当館ウェブサイトより▶

※3月10日(金)10:00より応募受付開始

※定員に達し次第締切



お披露目パフォーマンス+トーク

ワークショップに参加されたみなさんと創作したパフォーマンスをお披露目します。お披露目会場は「わたしたちは生きている! セタビの森の動物たち」展が終わり、静まり返った空っぽの展示室。終演後は今回のプロジェクトを振り返るトークもたっぷりお送りします。ぜひどなたでもお越しください。

4月14日(金) 14:00~16:00 (終了予定) ※上演時間45分程度 ※終了予定時刻はトークを含みます

出演者:ワークショップに参加した方

トーク登壇者:吉田萌、ルカ・ヴェージェッティ、吉田絵美(当館学芸員)

場所:当館1階展示室

定員:40名(先着)

参加費:500円(当日現金にて精算)

お申し込みは当館ウェブサイトより▶

※3月10日(金)10:00より応募受付開始

※定員に達し次第締切



吉田 萌 Moe Yoshida

1998年渡伊、2004年ポーロニヤ美術学院絵画科卒業。現代美術と劇空間を表現活動の場として制作を行っている。最近の主な仕事に、個展「蛙犬」(GALLERY TAGA2、東京、2021年)、グループ展「イタリア俗語」(イタリア文化会館、東京、2021年)、「SENZA SAPERE DOVE - PRATICA DEL FUORI」(どこも知れず-外部の詩情) (Villa Davia、サッソ・マルコーニ、イタリア、2023年)など。ルカ・ヴェージェッティ作品への参加として、人形劇「ペレアスとメリザンド」(Swedish Cottage Marionette Theater、ニューヨーク、2017年)、パフォーマンス「風が吹く限りずっと——ブルーノ・ムナリーのために」(世田谷美術館、東京、2018年)、細川俊夫作曲オペラ「班女」(サントリーホール、東京、2009年/カタパルトオペラ、ニューヨーク、2022年)、コラボ作品として「視線の地獄 モリス・メーテルリンクの人間と動物の世界より」(MAMBOポーロニヤ近代美術館、ポーロニヤ、2019年)などがある。

Photo:堀 哲平



ルカ・ヴェージェッティ Luca Veggetti

1990年より振付家、演出家として活動。作品はWorks & Processグッゲンハイム、マーサ・グラハムダンスカンパニー、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック等で制作・上演され高い評価を得てきた。近年の仕事に原案・演出・振付を手がけた「左右左」(横浜能楽堂とジャパン・ソサエティ<ニューヨーク>の共同制作、2017年)、ジェローム・ロビンス作品を再読・新演出した「Watermill」(ブルックリン音楽アカデミー、ニューヨーク、2018年)、サルバトーレ・シャッリノ作曲オペラ「Infitino Nero」(ポーロニヤ、2021年)など。美術館のための作品に、パフォーマンス/ビデオインスタレーション「Scenario」(MART、ロヴェレート、2016年)、パフォーマンス「風が吹く限りずっと——ブルーノ・ムナリーのために」(世田谷美術館、東京、2018年)、演能を世田谷美術館の空間のために再考した「夢の解剖——狸々乱」(世田谷美術館、2021年)、2009年に日本初演を手懸けた細川俊夫作曲オペラ「班女」の新演出(カタパルトオペラ、ニューヨーク、2022年)などがある。

Photo:堀 哲平

蛙犬 in セタビの森

「わたしたちは生きている! セタビの森の動物たち」展の会期中に蛙犬が「セタビの森」に遊びに来ます。遭遇をお楽しみに。

3月30日(木) 時間:11:00-11:30 / 15:30-16:00 (予定)

場所:当館館内(1階企画展示室を含む)

4月1日(土)、2日(日) 時間:さくら祭(10:00-15:00)の時間中
(詳細は当館ウェブサイトをご覧ください)

場所:さくら祭会場(当館エントランス広場ほか)



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011(代)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

[交通案内]

- ・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス④「美術館」下車徒歩3分
- ・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス⑩「砧町」下車徒歩10分
- ・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス⑨「美術館入口」下車徒歩5分
- ※お車で越しの方は、美術館東側の「砧公園有料駐車場」をご利用ください。

